

## 施工仕様書 「セラファンデ弾性」

概要	セラファンデ弾性は合成樹脂エマルジョン系フィラーで仕上塗材用の下地調整塗材で、既調合型の為、混練の手間が省けます。また、乾燥が早く、セメント系フィラーに比べて工期が短縮できます。
特徴	既調合型のため、混練の手間が省け、取扱いが容易となります。 乾燥が早く、セメント系フィラーに比べて工期の短縮が可能となります。 下地も目つぶし及び吸い込み止め効果を合せ持っている為、ALCパネルをはじめ、各種下地に適用することができます。 施工は左官刷毛塗り、ローラー塗り、左官ゴテ塗り、吹付塗りなどの使い分けが可能となっています。 下地に対する接着力が優れ、特に初期接着力に顕著な効果を示します。
用途 適用下地	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物(新築・改修)の内外壁面。 コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

### 【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整 (ゴテ塗装)	セラファンデ弾性 16kg 清水 0.1~0.5kg	0.8~1.3	・左官用金ゴテ	1	16時間以上
1 下地調整 (吹付塗 装)	セラファンデ弾性 16kg 清水 0.3~0.8kg	0.8~1.3	・リシンガン、万能ガン 口径:4~5mm 圧力:390~490KPa	1	16時間以上
1 下地調整 (ローラー塗 装)	セラファンデ弾性 16kg 清水 0.5~0.9kg	0.8~1.3	・ウールローラー	1	16時間以上

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承ください。

### ※ 注意事項

- ・コンクリートおよびモルタルなど、新しい面は夏期14日間、冬期21日間以上乾燥、養生させ、含水率10%以下、pH10以下の状態で施工してください。
- ・表面に付着しているエフロレッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- ・型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- ・下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- ・下地の取付金具、釘類等は亜鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。

## 施工仕様書 「セラファンデ弾性カラーSi」

用途 住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他の建築物(新築・改修)の内外壁面。

適用下地 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、

プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。

施工不可部位 天端(笠木・手すり・セットバック等)や幅木、パラペットの施工は避けてください。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

### 【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>下地の種類によって適切な処理をしてください。</li> <li>改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。</li> <li>旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。</li> </ul>			
2	下塗り	セラファンデ弾性カラーSi 15kg 清水 0~0.5kg	0.3~0.4 ・リシンガン、万能ガン 口径:4~5mm 圧力:390~490KPa ・ウールローラー	1~2	4時間以上

※ ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗装で不十分と思われる場合は2回塗装します。

※ 上記の各数値は全て標準のもので、施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承下さい。

### ※ 注意事項

#### ・ 下地調整

- 下地は放置して十分に乾燥させます。(pH10以下、含水率10%以下)
- 塵埃、レイタンス、未硬化セメント粉等の汚れ、付着物を除去します。
- 油脂類、離型剤等はシンナー拭き又はワイヤーブラシで除去します。
- 下地のピンホール、割れ、表面の凹凸、目違い、欠損部、脆弱部、露出鉄筋等を補修します。
- 改修時の旧塗膜については、劣化状況に応じて、適切な下地調整をして下さい。

#### ・ セラファンデ弾性カラーSi

- セラファンデ弾性カラーSiは指定の標準色の中から選定してください。
- 必ず全面に塗装してください。また、1回塗りで下地が隠れない場合には2回塗りしてください。透けた状態になっていると仕上がりにムラを生じる事があります。

## 施工仕様書 「エコファンデ」

概要	エコファンデは中空セラミック配合の合成樹脂エマルジョン系フィラーで軽量かつ断熱性を有する微弾性下地調整塗材で、既調合型の為、混練の手間が省けます。
特徴	既調合型のため、混練の手間が省け、取扱いが簡単です。 塗膜は中空セラミックの空気層を抱き込むため断熱性を有し、また、架橋形樹脂により強靱な塗膜を形成します。
用途	施工は左官刷毛塗り、ローラー塗り、吹付塗りなどの使い分けが可能です。
適用下地	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物（新築・改修）の内外壁面。 コンクリート面・セメントモルタル面・プレキャストコンクリート部材・ALCパネル・その他各種板・ボード類等。 シート状砂岩、サイディングボード（窯業系）、コテ塗り仕上（樹脂系、石材調、セメント系）、凹凸仕上（アクリルスタッコ、吹付タイル、弾性タイル）等の旧下地。

※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高湿等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

### 【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下地の種類によって適切な処理をしてください。</li> <li>・改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。</li> <li>・旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。</li> </ul>				
2 下地調整	エコファンデ 10kg	1.4～1.6	・リシンガン、万能ガン 口径：4～5mm 圧力：390～490KPa ・左官用刷毛 ・砂骨ローラー	2	(工程内) 3時間以上 (最終養生) 16時間以上
	清水 0～0.2kg				

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承ください。

※エコファンデ施工の前に必ずセラ水性シーラーHiで下地処理をしてください。

### ※ 注意事項

- ・コンクリートおよびモルタルなど、新しい面は夏期14日間、冬期21日間以上乾燥、養生させ、含水率10%以下、pH10以下の状態で施工してください。
- ・表面に付着しているエフロレッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- ・型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- ・下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- ・下地の取付金具、釘類等は垂鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。
- ・脆弱塗膜、浮き、剥離などはケレン屋サンディング等で除去してください。
- ・クラックは0.5mm以下の場合はセメントフィラー充填、0.5mm以上の場合はUカット(Vカット)で補修してください。
- ・高圧水洗で表面の汚れ、付着物などを除去してください。水洗後は24時間以上乾燥させてください。

## 施工仕様書 「セラファイラーカチオン(1材)」

用途	住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物（新築・改修）の内外壁面。
適用下地	旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。
施工不可部位	天端（笠木・手すり・セットバック等）や幅木、パラペットの施工は避けてください。

- ※ 本施工の前に必ず試験塗装を行い、希釈量（粘度）・塗装量（厚み）・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃（湿度50%）の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

### 【標準施工仕様】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用器具	回数	間隔時間
1	下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下地の種類によって適切な処理をしてください。</li> <li>・改修の場合、脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)後、補修を行ってください。</li> <li>・旧塗膜の劣化が著しい場合は、シーラー処理が必要となります。</li> </ul>			
2	下塗り	セラファイラーカチオン(1材) 16kg 清水 6.0～6.5kg	1.0～3.0 (約1～2mm 厚時) ・左官用金コテ	1	24時間以上

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承ください。

※ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗布で不十分と思われる場合は2回塗装します。

#### ※ 注意事項

- ・表面に付着しているエフロレッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- ・型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- ・下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- ・下地の取付金具、釘類等は亜鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。

#### セラファイラーカチオン(1材)

- ・所要量は清水込みの数値です。
- ・調合は必ず上記清水量の範囲内で実施してください。また調合の水は清浄な水を使用してください。
- ・調合する場合は、粉体全量を一度に混合使用してください。少量だけ混合しますと粉体に含まれる粉末樹脂量に過不足を生じることがあり、塗膜の強度不良を生じることがあります。
- ・調合後の可使用時間（ポットライフ）は約1時間です。
- ・1回の最大塗厚は約3mmまでとしてください。
- ・セラファイラーカチオン(1材)が完全に乾燥してから次工程に進んでください。
- ・未乾燥で仕上材を塗り重ねる仕上がりがムラや膨れ等を生じることがあります。
- ・ローラー施工は出来ません。
- ・施工中や乾燥途中に降雨（降雪）にあいますと、白華（エフロ）を生じたり剥離することがあります。